



SDGsとエコフィード



近頃、耳にすることが多い、『SDGs（エスディー・ジーズ）』皆様ご存知のとおり、国連で採択された持続可能な開発目標のことであり、我々が取り組んでいかなければならない17個の目標です。



その中の目標12「つくる責任 つかう責任」の中に、廃棄物の管理や削減などの内容が盛り込まれています。人間が生活していく以上、ものは消費され、いずれは廃棄物となります。私たちには、ものを「つかう責任」があり、その責任の上で、「ゴミを減らす（Reduce）」、「繰り返し使う（Reuse）」、「資源を循環する（Recycle）」という“3R”に取り組まなければなりません。

パンや弁当など食品を製造する工場等から排出される原料や製品の残さ、売れ残り製品等を廃棄物にせず、これらを食品循環資源として加工し、飼料化された「エコフィード」は、まさに“3R”を実践するものです。

日本科学飼料協会では、食品循環資源を原料として製造し、一定の基準を満たした飼料をエコフィードとして認証する「エコフィード認証制度」の窓口としての活動を行っています。

エコフィード認証制度については、ホームページに「エコフィード認証制度実施の手引き」をご用意しています。ご興味のある方は是非ご覧ください。



エコフィードは、エコロジカル（環境にやさしい）やエコノミカル（節約する）の「エコ」と飼料を意味する「フィード」を組み合わせた造語です。

お問い合わせ先

一般社団法人日本科学飼料協会

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館 6階

TEL : 03-3297-5631 FAX : 03-3297-5633

E-mail: info@kashikyo.lin.gr.jp ホームページ: <http://kashikyo.lin.gr.jp/>